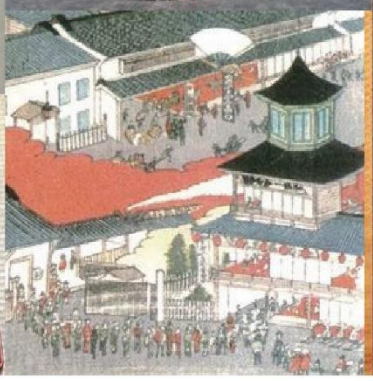
概要版

長野市文化財保存活用地域計画









長野市文化財保存活用地域計画概要版

計画作成の目的

地域で育まれた多様な歴史や文化を総合的に把握し、市民や関係団体、行政等が地域総がかりで保存・活用していくことで、文化財の価値と魅力を多くの市民と共有し、大切に使いながら、地域の特徴を活かしたまちづくりを進めると共に、歴史や文化の継承につなげていくことを目指し、本計画を作成します。

計画の位置づけ

文化財保護法第183条の3に基づき、市町村の区域における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画として作成し、**文化財保護法第183条の3第4項**に基づき、長野市歴史的風致維持向上計画（第2期）との調和を保つものとします。

また、上位計画である「第五次長野市総合計画」の教育分野の政策および「第三次長野市教育振興基本計画」の基本施策の中に位置づけられ、文化芸術、生涯学習、まちづくり、景観、観光など、本市の諸計画と連携を図るものです。

計画期間

令和６(2024)年度から令和13(2031)年度（８年間）

目指す将来像

「長野らしさ」を伝える文化財を活かした歴史文化都市

５つの歴史文化の特性から構成される「長野らしさ」を伝える長野市の文化財は本市の多様な歴史と文化を表し、それを後世へ伝える大切なモノやコトです。

本計画では、この文化財の価値と魅力が多くの市民に共有され、大切に使われながら将来に継承されることで、長野市が市民にも来訪者にも魅力のある歴史文化都市となることを目指します。

長野市の歴史文化の特性

歴史文化の特性１	大地の激動がもたらした恵みと災い
歴史文化の特性２	人々が交わる地「長野」
歴史文化の特性３	信仰が息づくまち「長野」
歴史文化の特性４	政治経済の中心「長野」
歴史文化の特性５	「長野」に生きる人々の暮らしと文化

長野市の歴史文化の特性

① 大地の激動がもたらした恵みと災い

太古の昔、海だった長野市域は、その後の激しい地殻変動によって長野盆地と東西の山地からなる地域となりました。この地殻変動は市域に暮らす人々に湧水や温泉、石材といった恵みをもたらす一方で、地震や水害といった災害をもたらしてきました。



貉郷呂山の石切場

② 人々が交わる地「長野」

長野市は長野県と新潟県との境界に当たる位置にあり、古くから内陸の山間地と日本海側をつなぐ交通の要衝でした。善光寺には古代以来、多くの参詣者が訪れ、その門前は様々な人々が行き交いました。近世になると北国街道が整備され、北信地域の大動脈となりました。近年では平成10(1998)年にオリンピック・パラリンピック冬季競技大会が開催され、世界中から多く人々が市域を訪れました。



善光寺宿駅繁花茶店の図
『善光寺道名所図会』

古来より多くの人々を迎え入れてきた長野市は、交流を軸として生み出されてきた多彩な歴史文化を現在に伝えています。

③ 信仰が息づくまち「長野」

市域には、社会の様々な人々と結縁する開かれた霊場として、多くの人々の信仰を集めてきた善光寺を筆頭に、修験の聖地であり、水を司る神として全国に名が知られていた戸隠山や、近世に地域の修験者を統括していた皆神山など、多くの宗教的拠点が存在しています。また市域では近世、里修験や聖と呼ばれる宗教者たちが地域の人々の信仰を支えていました。



戸隠山から出されたお札

④ 政治経済の中心「長野」の誕生

市域には、古墳時代にヤマト政権との結びつきを示す文化財として前方後円墳が存在し、また善光寺の周辺には後町（後庁）という官庁跡を示す地名が残っており、古くから政治の拠点が置かれたことがわかります。近世になると大名真田家の城下町として松代が発展しました。明治時代に入ると長野村の内、善光寺町に県庁が置かれ、県都としてふさわしい様々な近代インフラが整備されていきました。中央通りには洋風の近代建築物の商家などが相次いで建てられ、現在につながる市街地としての景観が形成されます。現在私たちが暮らすまちの風景からは、県都長野市の誕生へと至るまちづくりの歴史文化を見ることができます。



旧長野県庁舎

⑤ 「長野」に生きる人々の暮らしと文化

市域では山地・盆地で多様な生活文化が育まれ、地域間の交流がなされてきました。山地・盆地の生産生業・商品流通を背景として郷土色豊かな食文化も発展し、おやきに代表される粉食は今も人々に親しまれています。多様な生活文化を背景にして、市域各地では多様な年中行事・祭礼・芸能が行われてきました。現在でも道祖神の祭、獅子舞、御柱祭などが盛んに行われ神社や地域の祭事にあわせた花火の打ち上げも見ることができます。



篠ノ井越の人形道祖神

文化財保存活用の基本方針

基本方針1　文化財を掘り起こす（調査）

地域で守り伝えてられてきた多様な文化財を、市民と共に掘り起こし、価値づけをすることで、魅力ある長野の歴史文化の特徴を、広く共有していく。


仏教美術調査

基本方針2　掘り起こした文化財を保存する（保存）

経年劣化や災害等による文化財の滅失・損傷を防ぎ、確実に保存していくため、日常の維持管理と計画的な修理を行う。


真田信之霊屋保存修理

基本方針３ 歴史文化の魅力を伝え活用する（活用）

市内の多様な文化財の魅力を市民や来訪者（観光客等）の誰もが知ることができ、その本質的価値を理解し、日常的に活用していくことで、文化財の保存と活用の好循環を生み出していく。


松代城跡ライトアップ

基本方針４ 文化財が継承される仕組みを作る（継承）

社会環境の変化による文化財の担い手不足や、保存に関わる専門人材の不足、保存に必要な資金・資材の不足に対して、市民・行政・民間団体等が一体となって次世代に継承していく仕組みを構築する。


伝統芸能訪問公演

基本方針ごとの課題

基本方針１課題

・把握調査の対象となる文化財が膨大なため地域の研究団体等と連携して調査を進める必要がある。
・指定等文化財や、すでに把握されている文化財について、その価値や実態に不明な点が多い。

基本方針２課題

・文化財の維持管理が少子高齢化等により困難になってきている。
・文化財（建造物）の保存のためには、多額の費用がかかる修理修復が必要である。
・歴史的建造物等の文化財についての防災対策が指定文化財であっても不十分である。

基本方針３課題

・市民にとって文化財を学ぶ機会が不足している。
・市の歴史文化の魅力をわかりやすく伝えるための情報発信を強化・工夫する必要がある。
・各地域で地域の歴史文化の特性を活かしたまちづくりの将来像を、関係者間で検討し再構築する必要がある。

基本方針４課題

・所有者だけでなく地域で文化財を担っていくという意識の醸成を図る必要がある。
・文化財の保存に必要な資金・資材の不足に対し、行政の補助に加えそれ以外の資金や資材調達の検討が必要である。

具体的方針

基本方針1

方針１－１　文化財を総合的に把握する

「長野らしさ」を明らかにするため、文化財の総合的な調査を推進する。

方針１－２　文化財を研究し価値づける

調査によって掘り起こした文化財を、長野市の歴史文化の特徴に照らして価値づける。

基本方針2

方針２－１　文化財を適切に維持管理する

文化財の日常的な維持管理を適切に行うとともに、その保存状況を定期的にモニタリングし、文化財の価値の滅失を未然に防ぐ。

方針２－２　文化財を適切に修理する

文化財の経年劣化に対して適切な修理を行い、文化財の価値の滅滅を防ぐ。やむを得ず滅失してしまう文化財や、滅失の危険性がある無形（民俗）文化財については記録作成を行い保存する。

方針２－３　災害や盗難等に備える

災害や盗難等に備え、防災・防犯設備の整備や訓練の実施、防災マニュアルの整備を行う。

基本方針3

方針３－１　文化財を学ぶ機会を充実させる

文化財について市民が学び、携わることができる機会を提供する。

方針３－２　文化財についての情報発信の充実

博物館等での展示公開、発掘調査現場での見学会、インターネットを活用したオンライン公開などさまざまな方法で文化財についての情報を発信する。

方針３－３　持続可能な文化観光を推進する

観光事業者と連携し、関連文化財群を基本として地域の歴史や文化を活かした持続性のある文化観光を推進する。

方針３－４　文化財を活かした歴史まちづくりを推進する

文化財を活かして地域の魅力を高めるための歴史まちづくりを推進する。

方針３－５　文化施設の持続可能な活用マネジメント

歴史文化を伝える場として、文化施設のより一層の活用を図る。

基本方針4

方針４－１　文化財の担い手育成

歴史文化を次世代に引き継ぐため、地域一体となって後継者の育成を図る。地域における伝統芸能の伝承事業への支援を行う。

方針４－２　文化財の継承に必要な資金・資材調達の仕組みを作る

文化財を継承していくために必要な資金や資材を調達するための仕組みを構築する。

方針４－３　文化財の継承に必要な専門人材との連携を強化する

文化財の継承に必要な専門的スキルをもつ団体等との連携を強化する。

77の措置

1 市内仏教美術調査	40 出張展示
2 未指定文化財の現状把握調査	41 小中学校教育との連携推進事業
3 近世社寺の調査	42 教員と連携した文化財に関する教材開発
4 埋蔵文化財分布調査の実施	43 地域と教員の連携支援
5 戸隠竹細工調査	44 文化財総合ポータルサイトコンテンツ整備事業
6 文化財総合データベースの整備	45 説明版等の設置、改修
7 博物館・宝物館等での展示研究事業	46 博物館等での文化財調査の結果の展示
8 文化財の収集、整理	47 展示図録等の刊行
9 ながの祇園祭祭礼調査	48 地域の文化活動団体刊行物の情報提供
10 文化財所有者管理者研修会	49 多言語解説拡充整備
11 文化財所有者意識調査	50 地域計画の周知、計画の進捗状況の発信
12 文化財パトロール	51 文化財ガイド人材の育成及びプロガイド養成の検討
13 保存活用計画の作成	52 来訪者アンケート
14 真田宝物館施設整備	53 文化財を活用した体験型観光コンテンツの開発支援
15 博物館収蔵施設再編に向けての検討	54 歴史文化や景観、伝統工芸の保存に寄与する活動の観光コンテンツ化
16 各団体をまとめる窓口設置の検討	55 市内文化財周遊促進のための観光ルートやガイドマップ作成支援
17 文化財保護行政に寄与する団体に対する補助	56 鬼無里観光協会と連携した鬼無里地区の周遊促進
18 博物館等文化施設のボランティア、友の会活動の支援	57 民間の文化財活用活動支援
19 文化活動団体把握アンケート	58 地域団体等と連携した文化財を軸としたまちづくり
20 郷土史研究者等との連携	59 文化財を核としたまちづくりの推進
21 文化財の記録保存調査	60 伝統環境保存事業
22 無形文化財、無形の民俗文化財の映像記録化及び公開	61 景観重要建造物修理助成事業
23 埋蔵文化財緊急発掘調査	62 歴史的風致形成建造物修理助成事業
24 国史跡大室古墳群の保存整備事業	63 無電柱化、道路美装化による歴史的景観整備
25 国史跡松代城跡の保存整備事業	64 真田宝物館建替えの検討
26 指定等文化財修理補助事業	65 戸隠地質化石博物館とそば博物館との連携の検討
27 国登録文化財への支援の検討	66 博物館再編事業
28 防犯パトロール体制の強化	67 団体の活動や用具の修理等に関する補助
29 戸隠重要伝統的建造物群保存地区の台帳整備	68 伝統芸能の発表機会の提供
30 地域の文化財防災マニュアル作成	69 伝統工芸継承支援
31 文化財防災訓練の実施	70 文化財の担い手についての把握調査
32 文化財所有者・管理者向け文化財防災チェックリストの作成	71 文化財の担い手となる市民、団体の育成
33 文化財ハザードマップの作成	72 文化財に携わる職人の活動支援の検討
34 善光寺の防災防犯設備整備	73 文化財修理に関わる技術者の把握と連携
35 旧横田家住宅の防災設備整備	74 ふるさと納税等寄付金による資金調達
36 戸隠重要伝統的建造物群保存地区の防災対策	75 文化財修理に必要な原材料の確保支援
37 被災文化財保全活動の支援	76 文化財の保存活用に関わる団体との連携強化
38 災害時文化財レスキューの体制の構築	77 歴史的建築物の活用ノウハウを有した企業との連携
39 学芸員出前講座	

関連文化財群

長野市の５つの歴史文化の特性から９つの関連文化財群を設定しました。指定・未指定にとらわれず、共通の背景や文脈を持つ関連の文化財を一群のものとして捉え、保存・活用の取組を行うことで、長野市の歴史文化に対する理解促進や地域ごとの魅力向上が期待できます。

１大地の記憶～海だった長野

現在の長野市の地形を作った激しい地殻変動の痕跡、それらがもたらす資源からなる文化財群

【主な構成文化財】
ダイカイギュウ化石、油井、裾花凝灰岩、枕状溶岩など


セイウチ化石

２「信濃国のはじまり」のはじまり

善光寺平一帯に残る弥生時代～古墳時代の遺跡、考古資料からなる文化財群

【主な構成文化財】
篠ノ井遺跡群出土品、川柳将軍塚古墳・姫塚古墳など


箱清水式土器

３川中島の戦いと伝承

川中島合戦に関わる遺跡や後世に生み出され現在まで伝わる伝承からなる文化財群

【主な構成文化財】
武田晴信願状、勘助宮、加賀井温泉、葛山城跡鞍骨城跡など


合戦を描いた江戸時代の錦絵

４松代城下町に伝わる武家文化

江戸時代、松代藩の城下町として栄えた松代町に伝わる建造物、遺跡、風俗習慣からなる文化財群

【主な構成文化財】
松代城跡、真田家文書、庭園群、佐久間象山宅跡、松代焼、松代雅楽など


大門踊り

５善光寺・門前町に息づく歴史文化と祭礼

善光寺門前町の歴史と賑わいを伝える建造物や祭礼行事からなる文化財群

【主な構成文化財】
善光寺本堂、堂童子行事、門前町の歴史的建造物、畳刺しなど


善光寺御祭礼絵巻

６自然と信仰が紡ぐ戸隠の歴史文化

山岳信仰とともにつくられてきた戸隠の歴史文化を伝える建造物、祭礼、食文化からなる文化財群

【主な構成文化財】
戸隠神社信仰遺跡、宣澄踊り、奈良尾弘法遺跡、式年大祭、奥社社叢、蕎麦、竹細工など


戸隠そばとそば笊

７里山の恵みを活かした暮らしと粉食

里山の暮らしおよび食文化を伝える生産道具や祭礼行事からなる文化財群

【主な構成文化財】
麻・畳糸作り道具、粉食、紙店資料、鬼無里の屋台、神楽など


西山地域のオヤキ

８川と共に生きる－千曲川水系と暮らし－

千曲川水系がもたらす恵みと脅威を受けてきた人びとの暮らしを伝える物や伝承からなる文化財群

【主な構成文化財】
千曲川流域の漁具、大豆島区有文書、果樹栽培関係資料、千曲川流域の治水土木遺産など


長野盆地を流れる千曲川

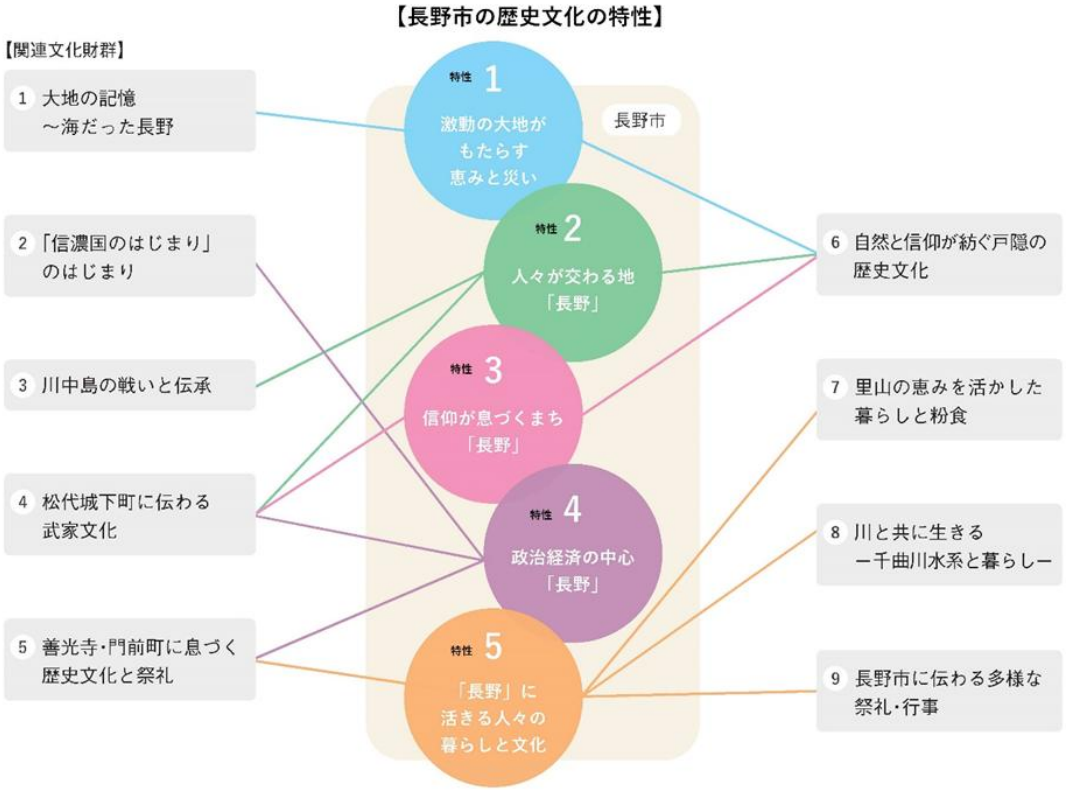
９長野市に伝わる多様な祭礼・行事

市内各地でみられる獅子舞や道祖神行事など長野市を特徴づける民俗文化財群

【主な構成文化財】
芦ノ尻の道祖神祭り、人形道祖神、小正月関係コレクション、えびす講花火、獅子神楽など


セーノカミの勧進

【歴史文化の特性と関連文化財群の相関図】



関連文化財群の措置

関連文化財群１　大地の記憶 海だった長野	
1	野外観察会の実施
2	構成文化財の魅力発信事業の実施
3	フィールドワークの実施
4	収蔵地質資料の調査研究と整理
5	博物館収蔵品のレプリカ作成
6	文化財を活用したグッズ開発の検討
7	SNS等を活用した情報発信
8	収蔵品DBの充実とHPのアクセスビリティの向上
9	市民参加の推進
10	教職員への研修
11	小中学校教育との連携推進事業

関連文化財群２　「信濃国のはじまり」のはじまり	
1	埋蔵文化財分布調査
2	市内遺跡確認調査事業
3	資料の収集・整理・研究
4	指定等文化財候補の選定
5	史跡大室古墳群整備専門家会議の実施
6	大室古墳群管理事業
7	史跡大室古墳群保存整備事業
8	史跡大室古墳群保存管理計画の策定
9	文化財保護への支援
10	地域の文化財の担い手育成
11	収蔵スペースの確保
12	博物館収蔵庫改修・特別収蔵庫の設置の検討
13	大室古墳群アクセス道路の整備
14	関連文化財群に関する普及啓発
15	構成文化財の教材化の検討
16	博物館常設展示の更新・拡充、及び企画展の開催
17	ガイドマップの作成及びガイド人材の育成
18	大室古墳群まつりの開催

関連文化財群３　川中島の戦いと伝承	
1	川中島の戦い関連資料の収集
2	展示公開による情報発信
3	博物館展示設備改修
4	川中島合戦文化財周遊コンテンツの作成
5	川中島の戦い関連文化財紹介HPの新設
6	教育機関向け学習コンテンツの開発
7	牧之島城跡の保存整備を進める

関連文化財群４　松代城下町に伝わる武家文化	
1	松代藩関係資料調査
2	松代城下町文化財調査
3	流出した松代藩関係資料の収集
4	外部研究機関との共同研究事業の推進
5	真田宝物館展示室及び収蔵施設整備の検討
6	松代城跡保存整備事業
7	旧横田家住宅の防災施設整備事業
8	登録文化財への登録推進支援
9	歴史的まちなみ環境整備事業
10	伝統環境保存事業の実施
11	庭園の維持管理体制の検討
12	文化財保存のための財源確保
13	松代藩関係資料購入基金創設の検討
14	災害時の文化財レスキュー体制の検討
15	松代藩関係文化財の情報発信
16	着地型文化観光コンテンツ開発支援
17	歴史的建造物活用事業の推進
18	教育機関と連携した普及啓発事業
19	松代藩関係文化財の普及事業
20	文化財の担い手育成
21	建造物修理に必要な技術継承、人材育成支援
22	伝統工芸、伝統芸能の技術継承、後継者育成支援

関連文化財群５　善光寺・門前町に息づく歴史文化と祭礼	
1	善光寺関連資料の把握調査
2	歴史的建造物、祭礼などの調査の推進
3	善光寺本堂の耐震、防災対策の検討支援
4	防災訓練の実施
5	善光寺保存事業の実施支援
6	善光寺関連施設修理の検討
7	建築基準法適用除外の検討
8	リノベーション支援
9	歴史的まちなみ環境整備事業
10	文化財修理基金創設の検討
11	門前まちあるきイベントの促進支援
12	文化財を活用した観光コンテンツ開発支援
13	ガイドマップの更新及びガイド人材育成支援
14	教育機関と連携した普及啓発事業
15	建造物修理の技術継承と後継者育成支援

関連文化財群６　自然と信仰が紡ぐ戸隠の歴史文化	
1	戸隠竹細工調査の実施
2	戸隠関連文書の把握調査
3	観光パンフレットの作成及びガイド人材育成支援
4	文化観光コンテンツの開発を支援する
5	戸隠神社奥社社叢水路等の整備
6	伝統的建造物群防災対策事業の実施
7	伝統的建造物群保存地区保存事業の推進
8	伝統的建造物群の建築基準法適用除外の検討
9	茅刈り事業の推進支援
10	古民家活用事業の支援
11	戸隠竹細工技術継承事業の支援
12	歴史的まちなみ環境整備事業
13	文化財保存のための財源確保

関連文化財群の措置

関連文化財群７　里山の恵みを活かした暮らしと粉食	
1	生産性業資料のコレクション化に向けての研究
2	生産性業資料をテーマとした展示公開事業
3	昔の暮らしを伝えるボランティアの育成
4	鬼無里の屋台の魅力発信
関連文化財群８　川と共に生きるー千曲川水系と暮らしー	
1	漁撈資料の調査と収集
2	漁撈資料の展示公開
3	博物館収蔵設備整備
4	文化財保全活動体制の整備
関連文化財群８　川と共に生きるー千曲川水系と暮らしー	
1	行事・祭礼把握調査の実施
2	伝統芸能継承支援事業
3	行事・祭礼の映像記録化事業
4	行事・祭礼の情報発信
5	行事・祭礼の担い手育成支援
6	市域の特徴ある祭礼行事の情報発信

文化財の保存･活用の推進体制と評価

推進体制

本計画に基づく文化財の保存活用の取組は庁内体制の整備、関係行政機関との連携、地域計画協議会、民間団体等との連携の下に推進します。また関係機関や民間団体等は計画の取組状況に応じて適宜追加等を行い、連携強化を図っていきます。

長野市	・観光文化部文化財課
	【役　割】計画に関する主務、文化財の保存・管理・活用
	【職　員】10名（うち埋蔵文化財の専門職員３名、民俗文化財の専門職員１名）
	・観光文化部文化財課埋蔵文化財センター
	【役　割】埋蔵文化財の発掘調査・保存・活用
	【職　員】12名（うち埋蔵文化財の専門職員11名）
	・観光文化部文化財課松代文化施設等管理事務所
	【役　割】松代地区の文化財の管理運営、真田宝物館所蔵の真田家関係資料の調査・研究・収蔵・公開・普及啓発
	【職　員】7名（うち美術工芸品の専門職員５名）
	・観光文化部博物館
	【役　割】文化財の調査・研究・収蔵・公開・普及啓発
	【職　員】21名（うち美術工芸品の専門職員５名、民俗文化財の専門職員１名、記念物の専門職員８名）
	・観光文化部文化芸術課
	【役　割】伝統芸能の継承支援
	・観光文化部観光振興課
	【役　割】文化財を活用した観光振興
	・都市整備部まちづくり課
	【役　割】歴史的維持風致維持向上計画との連携・調整
	・地域計画ワーキンググループ
	【役　割】各事業の進捗管理、内部評価
	【構　成】文化財課・博物館・文化芸術課・観光振興課・まちづくり課
協議会	・長野市文化財保存活用地域計画協議会
	【役　割】地域計画の進捗管理・評価、計画の見直しの検討等
	【構　成】委員15名（学識経験者５名、文化財関係団体２名、観光関係団体２名、文化財所有者１名、市民代表３名、長野県１名、長野市１名）
地方文化財保護審議会	・長野市地方文化財保護審議会
	【役　割】文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議
	【構　成】委員７名（歴史３名、建造物・考古・民俗・記念物各１名）
関係行政機関	・文化庁
	【連携部分】地域計画に関する助言・指導
	・国立文化財機構文化財防災センター
	【連携部分】災害時の文化財のレスキュー、地域防災体制の構築
	・長野県県民文化部文化振興課
	【連携部分】地域計画に関する助言・指導
その他民間団体等	・長野市文化財保護協会
	【連携部分】文化財パトロールによる現状把握
	・公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー
	【連携部分】文化財を活用した観光コンテンツの開発・情報発信
	・公益社団法人長野県建築士会
	【連携部分】文化財（建造物）の調査、災害時の文化財（建造物）のレスキュー、記録保存
	・長野県文化財レスキューネット
	【連携部分】災害時の被災資料（文化財）のレスキュー及び保全
	・長野郷土史研究会ほか市内各地の郷土史研究団体
	【連携部分】文化財の把握調査・現状把握

MEMO

長野市文化財保存活用地域計画本文は下記のQRコード